

有朝う

— 高橋英雄 詩集 —

第五号

きも 胆に銘ずべし

令和3年1月9日

あなたも私も救世主

令和3年1月9日

古い古い過去世の昔から
五井先生と縁があったことの尊さよ
今その縁が熟して私たちは
救世の大光明を地に流す器（うつわ）と
なった。
地球人類の業想念を大浄化し
地球を大調和させる光明体となった
救世主群の一員となって
この人生の晩年（ねん）を生きられるなんて
こんな光栄なことはない。
こんなに有難いことはない
わが天命は完うされつつある
大成就されつつある
もって銘ずべし

世界人類が平和でありますように
日本が平和でありますように
私達の天命が完うされますように
守護霊さま守護神さま有難うございます
五井先生有難うございます

五井先生と神界との約束事で
救世の大光明が祈る私たちに輝きわたり
人類の業想念を大浄化し
地球を大調和させている。
この祈りある限り人類の未来は明るい
祈り人がいる限り地球の未来は輝く。
救世主は一人ではなかった。

あなたも私も救世主だった。
祈りの大光明力
五井先生ひきいる神霊団（だん）の大光明力が
地球の破壊（かい）と人類の滅亡を防いで来た。
あなたが救世主だったのだ
私が救世主だったのだ。
肉体を器として救世の大光明に捧げ
祈り印を組む私たちが救世主だったのだ。
なんと尊い私たちの存在。
なんと有難い五井先生の大光明。
その存在の偉大さを互いに認め
お互いに尊敬し愛しあつていこう



約束事の尊さよ

令和3年1月7日

五井先生と神界との間に交わされた
約束事の尊さよ
救世の大光明が祈る人に必ず輝く
という有難さよ
病苦や貧苦に悩まされている人も
身体不自由でベッドでねたまの人も
身体健全で健康な人も
世界人類が平和でありますようにと祈ると
救世の大光明が忽ちその人に輝き
その人は神の器 神の働き場となり
世を救う神仏の働きをする
過去は問題ではない
現在も関係ない
祈ろうというあなたの菩薩心が
大空にみなぎる大慈愛に感応し
白光と輝きわたるのだ
あなたの菩薩心のなんと尊いこと
今あなたは天命を完うしている
神々とともに働いている
あなたが生きているのではない
神のお働きが生きているのだ

祈っているのは神

令和3年1月9日

“世界人類が平和でありますように”
唱えているのは誰？
肉体の私ではあるけれど
私の内なる五井先生が発声し
神・五井先生が祈っておられる
救世の大光明が祈っておられる
私の心はずまりかえり
耳を傾けて聴いている。
世界平和の祈りは大救世主の光明そのもの
コトバである。
この肉体が発声機関となり
神々が御仏達が救世主が働いていらっしやる
私はそのコトバに耳を傾け
祈りをきいている。
神々が御佛たちが結集し
救世の大光明となって働いていらっしやる。
守護霊さま守護神さま有難うございます
五井先生ありがとうございます
私はただく感謝するばかり

御名をよべ

令和3年1月14日

(I)
悲しい時は御名を呼べ
苦しい時は御名を呼べ
五井先生！ と御名をよべ
五井先生は救世の大光明
すべての苦悩を吸いとり
光明と化す
辛い時は御名をよべ
さびしい時は御名をよべ
五井先生！ と御名をよべ
五井先生は救世の大光明
すべての苦悩をすくいとり
光明と化す
不安の時も心配の時も
五井先生！ と御名をよべ
五井先生の御名(みな)は不可思議光
御名を呼ぶ者がすべて救われる
御名を呼べ 御名を呼べ
ひたすらに呼びつけ
五井先生の中にとびこみ
光明となれ！

(II)

五井先生の名号(みようこう)不可思議光
五井先生を呼ぶ者は必ず救われん
呼ぶ者の縁者ともに救われん
呼ぶ者一人一人の神聖を開き給う
五井先生を呼べ
五井先生を呼べ
光明の道 平安の道ここにあり
五井先生は絶対の平和 絶対の光明
五井先生を呼んで
五井先生の中にとびこめ
五井先生の中にとびこめ
五井先生の中にとびこめ
あらゆる苦悩は消え去って
汝 光明を見出さん
汝 平安を見出さん
よろこびを見出さん
ひたすらにく御名をよべ
五井先生をよべ

希望の星

令和3年1月11日

我々一人一人の籍は救世主群団にある
世界人類が平和でありますように と祈り
黙々と神聖復活の印を組み
守護霊守護神に感謝する
五井先生に感謝する
感謝のコトバを発しつづけている我々は
夜明の星 希望の光だ。
平和を祈る人に必ず救世の大光明が輝き
人類の業(ごう)は浄められ
地球は大調和してゆく。
印を組むことによつて
人間の神聖が復活してゆく。
祈り人の存在がある限り
印を組む人の存在がある限り
大救世主 働き給う
大救世主働き給えば
地球は安泰
人類は亡びない。

強運

令和3年1月15日

五井先生という
世にもまれなる大神さまに
愛され守られている上に
大日如来という仏の中の仏
仏の王者に守られているなんて
こんなに有難い生まれ合せはない。
イエスキリストにも愛され
お釈迦さまにも可愛がられ
老子さまにも愛され
合気道の神様植芝盛平先生にも可愛がられた。
この生まれ合せは
私が努力して得たものではない
修行して得たものではない
生まれながらに持っている幸運
神運 仏運なのだ
私よ お前なんて幸せ者よ。



甘えは許されない

令和3年1月15日

私は甘ちゃんだった

晩年は家内と暖かい家庭生活を

ゆったりと過(すご)そうと思っていたが

神さまは私から家内をとりあげ

独り身の老人生活を強(し)いられた

これも神の大愛と受けとめ

あらゆる甘さを祈りの中に投げ入れる

季節は厳寒

甘さは一切ゆるされない

甘える気持ちをふりきって祈りの中に

五井先生の唱名の中に入れる

甘えていては成長出来ない

きびしいからこそ成長出来る

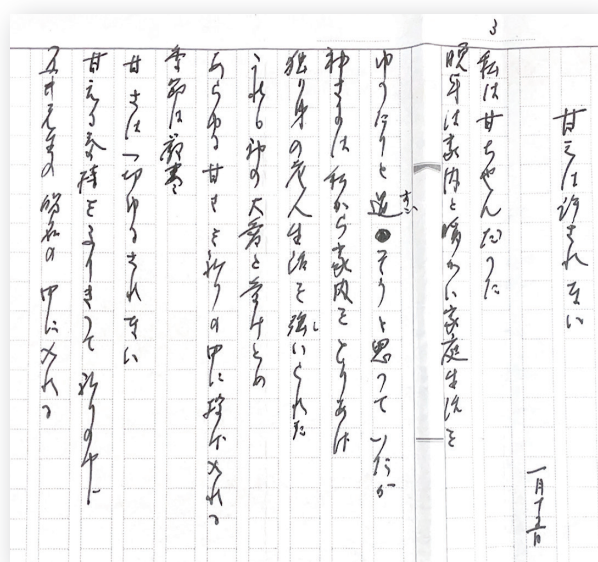
私は一人ではない

守護霊守護神が導いてくれている

ただ くく 五井先生の中に入れるべしと

神への感謝一辺倒を

改めて自らに課している



第五号 編集後記

高橋英雄先生の詩は情緒があつて、拝読させていただくうちに、風景画を見ているように思うことがよくあります。今号の校正刷りのデータを見た時、デザイナーの細やかな工夫と相まつて、まるで秋の野原にいるようでした。

優しく、時には厳しくみ教えに導いて下さり、五井先生に会わせて下さり、奥さまを偲ばれる詩には人間味がにじみ出て、お二人の暮らしぶりが見えてくるようです。先生からの封書が届いているか、郵便受けをのぞくのが楽しみな毎日です。

秋から冬に向かう季節の変わり目に、体調を崩されませんようにと願うばかりです。

無限なる感謝を込めまして、第五号をお届け致します。

令和4年10月吉日 O.K

編集発刊 白光真宏会 大阪支部

住所 〒55010002

大阪市西区江戸堀2-17-132
ネオアージユ土佐堀303号

TEL 06-6444-8620
FAX 06-6444-8620

